

特定非営利活動法人 金澤町家研究会

2024年度活動報告書

◆研究会の活動の実績と課題

金澤町家研究会は2005年6月に任意団体としてスタートし、2008年2月よりNPO法人として活動している。したがって本年6月で20周年を迎える。市民活動としてこれだけ長期にわたって活動できたことは会員各位の熱意と積極的な参加の賜物であり、心から感謝したい。

これまで金澤町家を継承していくことの大切さを市民や所有者に啓発するため、毎年、「金澤町家巡遊」の開催、「優良金澤町家」の認定と特製プレートの贈呈、講演会やシンポジウムの開催、金澤町家に関する書籍出版や木版画の絵葉書発行、紙芝居の作成と口演などを行って来た。また、随時、金澤町家の所有者や利活用希望者の相談などに、必要に応じて、LLP金澤町家や一般社団法人金澤町家活用推進機構、金澤町家友の会、金澤町家学生会議と連携しながら対応して来た。

また、町家研の発足時より金沢市から委託を受ける形で連携し、金澤町家の実態調査、市民意識調査、金澤町家流通コーディネート事業、金澤町家塾としてまち歩きによる案内や講演会を実施して来た。金澤町家情報館の整備後は、町家研職員もそこに常駐し、市スタッフとともに市民の相談などに対応するなど、より一層連携するようになり、金澤町家の継承、活用の進展に努めて来ている。

このように町家研の活動の特徴は、他地域の活動と比較すと、金沢市と密接に連携していることにある。市は



彦三町家

各種の関連制度にもとづいて政策の実現を遂行しているが、自治体として公正、公平を旨とするため、ときとして臨機応変の対応が困難であり、担当スタッフも定期的な人事異動により変わる。それに対応して、必要な場合は、適宜、町家研がそれらをカバーするようにして対応している状況である。

今後も、町家研としては、市民活動団体としての自主性、自律性を自覚しながら、金澤町家の継承、活用の支援活動に努めていきたい。
(川上光彦)

◆研究会活動の概要

2024年度は、それまでと同様の諸活動を実施するとともに、町家研スタートから20年目を迎えるに際し、それまでの活動を振り返り、今後の活動を展望するシンポジウムを実施した。

「金澤町家巡遊」は17回目の開催となり、中心部における武士系建物として貴重な存在である「工房ひよんの木」を主会場にして実施した。また、金澤町家情報館での「金澤町家塾」の企画・実施、フードピア金沢の「金澤町家周遊ツアー」の企画・実施などを行った。

2011年度から2カ年度で行った「金澤町家流通コーディネート事業」を継承する事業として、2013年度以降、市からの委託事業による「金澤町家流通・コンサルティング事業」を実施した。

本年度も、会議は主にWeb会議ツール「Zoom」を利用し、



金澤町家塾での探訪ツアー

オンラインも活用した講演会を実施するなど、金澤町家の情報発信に取り組んだ。金澤町家会員会議は2箇月に1回程度主としてオンラインで開催した。

◆金澤町家巡遊・・・ひと・わざ・暮らしの金澤町家展

17回目となる今年度の金澤町家巡遊は、令和6年11月16日（土）、17日（日）の2日間の日程で開催した。町家にお住まいの方や活用されている方々の協力も得て、イベントやツアーを行うことができた。

今回のテーマは「香林坊周辺 まちなかの町家」として、存続継承が求められている「工房ひよんの木」を拠点とし、工房ひよんの木の建物・庭・土塀など往時の武家地の伝統的な形をそのまま残す貴重な屋敷構えを拝見し、絵付け体験や限定のカフェ、また、ビルや駐車場などの土地利用が進んだ香林坊境界にてお住まいや店舗として活用されている町家や遺構を巡るツアーなど、多くの方が楽しめる企画内容とした。（橋本浩司）

- ホームページURL：<http://kanazawa-machiya.net/mj/>
- ブログURL：<http://kanazawa-mj.jugem.jp/>
- Twitter @kanazawa_mj
- Instagram @kanazawa_machiya_j
- YouTubeチャンネル：<https://www.youtube.com/channel/UCvdcDwkR8t7Q1Rb0xIPI1afw>



拠点の工房ひよんの木



お庭の話



建物の話



ツアーの様子



ツアーの様子



ツアーの様子



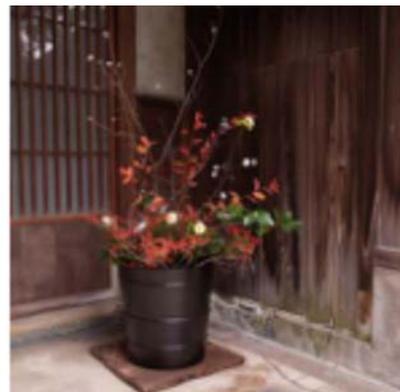
赤絵付け体験



関守石作り



金澤町家巡遊2024イベントマップ



◆金澤町家流通コーディネーター事業

金沢市が整備を進めた「金澤町家情報館」(右写真)は、金澤町家の価値や魅力に対する理解を深めるための情報発信拠点施設で、金澤町家の保全活用に関する総合相談窓口や金澤町家の情報発信、空間体験機能を担い、2025年で開館10年目となる。

開館以降は金澤町家研究会専任スタッフが常駐し、金澤町家流通コーディネーター事業やのほか、金沢市の町家施策に関わる各種事業の相談対応及び同施設の案内・見学対応の支援を行っている。

令和6(2024)年度のオーナー登録は9件、ユーザー登録も9件で、ユーザーが希望する利用用途をみると店舗などの事業用利用が5件で半数以上あり、金澤町家での事業利用希望が増加傾向と伺える。

「金澤町家情報バンク」は町家の流通促進を図るための情報サイトで、令和6年度中には22件の物件が掲載された。オーナー側より金澤町家情報バンクへの掲載希望があった際には、その支援を行った。

令和6年度中にマッチング(売買または賃貸成立)に至ったのは4件で、金澤町家流通コーディネーター事業開始から令和6年度末時点で、成約件数は累計67件となった。

(古村尚子)



金澤町家情報館

<https://kanazawa-machiya.jouho.jp/>

金澤町家情報バンク

<https://bank.kanazawa-machiya.jouho.jp/>

◆設立20周年記念シンポジウム

設立から20年目を迎え、これまでの活動を振り返りつつ、今後の金澤町家研究会の活動を展望するシンポジウムを開催した。

※開催記録は下記URL参照

https://kanazawa-machiya.net/wordpress/wp-content/uploads/2023/07/symposium_report2024-2-1.pdf

◆シンポジウム「金澤町家研究会のこれまでとこれから」

日時：2024年6月22日(土) 13時30分～17時30分
会場：金沢学生のまち市民交流館交流ホール

〈第1部〉 令和5年度の主な活動報告

〈第2部〉 パネルディスカッション/意見交換

テーマ『金澤町家研究会の歩みとこれからの展望』

◎パネリスト

岡崎篤行・新潟大学教授、博士(工学)

白石英巨・金沢大学地域創造学系講師、博士(工学)

林 正人・林建築設計工房代表、一級建築士

松本有未・ことのは不動産(株)代表取締役

◎コーディネーター

川上光彦・金沢大学名誉教授、工学博士

〈第3部〉北陸・甲信越ブロック/団体活動報告

新潟まち遺産の会(新潟)、雁木のまち再生(新潟)、歴町センター大聖寺(石川)、土蔵造りのある山町筋まちづくり協議会(富山)、若狭熊川宿まちづくり特別委員会、NPO法人全国町並み保存連盟

金澤町家研究会シンポジウムと全国町並み保存連盟主催のシンポジウム

金澤町家研究会のこれまでとこれから

日時 2024年6月22日(土)

会場 金沢学生のまち市民交流館交流ホール(金沢市片町2丁目5-17)

【NPO法人金澤町家研究会令和6年度定期総会】13時～13時20分
 【シンポジウム】13時30分～17時30分 参加無料・要申込(13時30分)・定員40名
 【懇親会】18時30分～20時30分(要会費)・要申込(18時30分)・定員15名
 【オプションツアー】6月23日(日)10時～ 参加無料・要申込(10時)

【参加申込】会場参加、または、オンライン(Zoom)視聴
 参加申込フォーム><https://forms.gle/nXaYt1t47gBuy946>
 NPO法人金澤町家研究会事務局へメール・FAXにて申込
 (氏名・住所・メールアドレス・参加方法・参加イベントを明記ください) 参加申込フォーム

◆金澤町家情報館での「金澤町家塾」

金澤町家について市民に対して一層の広報を行うため、金沢市より委託を受け、平成28年度以降、令和6年度においても「金澤町家塾事業」を企画、実施した。

金澤町家情報館の利活用も兼ね、同情報館を拠点とし、コロナ禍前の2019年以降5年ぶりに実際のまち歩きを再開し、10月19日（土）に増田達男金沢工業大学名誉教授のガイドにより「里見町・水溜町界限」の探訪を実施した。座学は金澤町家情報館での参加とオンライン配信のハイブリッド方式で開催した。

金澤町家を学ぶ講座の1回目は、11月30日（土）に開催し、林正人氏（林建築設計工房代表）を講師に「いまどき町家の性能改修—断熱・防火・耐震—」と題し講演いただき、金澤町家を学ぶ講座の2回目は、令和7年3月8日（土）に開催し、増田達男金沢工業大学名誉教授を講師に「城下町金沢の成り立ちと町並み」についてお話しいただいた。



金澤町家探訪と講座の様子

※「城下町金沢の成り立ちと町並み」の記録は下記URL参照

https://kanazawa-machiya.net/wordpress/wp-content/uploads/2025/05/machiya_juku20250508.pdf

※「いまどき町家の性能改修」の記録は下記URL参照

<https://kanazawa-machiya.net/wordpress/wp-content/uploads/2025/01/36981ffe3b59c244e6df05272229fd57.pdf>

主催：金沢市、協力：NPO法人金澤町家研究会

金澤町家塾 Kanazawa-Machiya Juku

いまどき町家の性能改修
断熱・防火・耐震

令和6年11月30日（土）10時～11時30分頃

講師：林 正人（林建築設計工房 代表）

聞き手：川上 光彦（NPO法人金澤町家研究会理事）

会場：金澤町家情報館 & オンライン視聴

金澤町家などの歴史的建造物の改修における断熱、防火対策、耐震性について、自身が関わった改修事例をもとに説明し、快速で魅力ある町家についてお話します。

金澤町家情報館で参加、または、オンライン（Zoom）で視聴、各10名程度（申込順）
参加費：無料、11月12日（火）9時より申込受付開始 ※オンライン参加はメールで申込みください
申込み：金澤町家情報館（TEL. 076-208-3231、メール kanamachi@city.kanazawa.lg.jp）

KANAZAWA MACHIYA
金澤町家情報館
〒920-0994 金沢市茨木町53番地
TEL:076-208-3231 FAX:076-208-3241
mail: kanamachi@city.kanazawa.lg.jp
http://kanazawa-machiya.jouho.jp/

◆金澤町家改修活用セミナー

金澤町家改修セミナーとして、須田達氏により「伝統構法木造建築物の耐震化技術」として講演いただいた。

当日、会場では6名程度、オンラインでは40名程度の方々に視聴いただき、質疑応答も行った。

日時 2025年2月8日（土）10時～11時半
会場 金澤町家情報館／オンライン配信
講師 須田達 金沢工業大学・教授（耐震工学）
司会 永野 紳一郎（金沢工業大学 建築学科 教授）



※セミナーの概要については下記URLの記録参照

<https://kanazawa-machiya.net/wordpress/wp-content/uploads/2025/03/seminar20250208-comp.pdf>

主催：NPO法人金澤町家研究会／一般社団法人金澤町家活用推進機構

金澤町家改修セミナー Kanazawa-Machiya Renovation Seminar

石川県内には金沢市内の町家やつづみ地区など、数多くの伝統木造建築物が存在しており、それぞれに異なる町並みを形成している。文化的歴史遺産としての価値があり、今後ますますの価値を形成している。文化的遺産としての価値を高め、防災・耐震性を高める。文化遺産としての価値を高め、防災・耐震性を高める。文化遺産としての価値を高め、防災・耐震性を高める。

二〇二五年一月一日に発生した大規模な地震による被害発生し、各地で甚大な被害をもたらした。これほどの被害を軽減させるには、従来の木造建築物の耐震化技術や耐震技術を駆使する。

本講演では、最新の耐震化技術や耐震技術を駆使し、これほどの被害を軽減させるには、従来の木造建築物の耐震化技術や耐震技術を駆使する。

伝統構法木造建築物の耐震化技術

令和7年2月8日（土）10時～11時30分頃

講師：須田 達 金沢工業大学・教授（木構造・耐震工学）
司会：永野 紳一郎 金沢工業大学 建築学科 教授

会場：金澤町家情報館（金沢市茨木町53）& オンライン視聴

参加：無料、金澤町家情報館で参加、または、オンライン（Zoom）で視聴
定員：金澤町家情報館での参加は10名程度 申込締切：2月6日（木）まで
右のフォームよりお申込みください <https://form.gls.jp/0401601610> ※参加フォーム

「金澤町家改修セミナー」は、令和6年度金澤町家活用推進機構の委託による活動です。歴史的建造物の耐震化、防火性、耐震性、居住性向上など、伝統構法による改修について考えるセミナーです。

問い合わせ NPO法人金澤町家研究会 電話：076-254-0647 Mail：kanazawa-machiya@nifty.com

◆フードピア金沢2025

フードピア開催委員会より協力依頼があり引き続き、積極的に協力し、以下の企画によりて実施した。

- ・前回と同様に5ツアー
- ・ツアーによる周遊は午前10時半頃より12時頃まで
- ・最後に金澤町家で会食する。
- ・担当は主担当者と補佐の二人
- ・説明や町家の収容を考慮して定員は12名
- ・各ツアーで、ツアー内容の資料を作成



“町家”から金沢の魅力を再発見

金澤町家“食”めぐり

～金澤町家周遊ツアー～

開催日
2/1 土・8 土・15 土・16 日・22 土

金澤町家を地域別に周遊するツアーです。金澤町家研究会のメンバーがガイドを務め、各コースにある町家を実際に見て回ります。藩政時代からのまちなみを残す金沢の魅力に、町家を通して触れてみませんか。最後に町家の飲食店で会食します。

特別協力 NPO法人 金澤町家研究会

旅行企画・実施・お申し込み
ほっこく観光 ☎076-263-3565(平日9:30-18:00土日祝日休業)
総合旅行業務取扱管理者：高井敏也

お問い合わせ
ケイ・シー・エス ☎076-224-4141(平日10:00-18:00土日祝日休業)

(金澤町家に関するお問い合わせ)
NPO法人 金澤町家研究会 ☎076-254-0647

※ツアーの内容は、予告なく変更させていただく場合があります。
※当日は、添乗員は同行いたしません。係員が同行します。
※ご入金後のキャンセルおよび返金はお受けいたしかねますので、ご了承ください。

1 材木町界隈ツアー

多様な活用事例と金澤町家の魅力

2/1 土 出発10:30 解散14:30頃(食事後) ※10:20までに集合ください。

定員12名 7,500円 (税込)

集合場所 大樋美術館前

コース 大樋美術館前→武家屋敷→ディキシット邸→横山町の町家→かなざわ玉泉邸など

みどころ それぞれの特徴を活かしながら、現代のライフスタイルに適應させた多様な活用事例を通して、金澤町家の魅力を再発見します。

食事案内 かなざわ玉泉邸 坂本 英之 (金沢美術工芸大学名誉教授) 金澤町家研究会事務局

2 金沢駅界隈ツアー

広がる活用と町家の姿

2/8 土 出発10:30 解散13:30頃(食事後) ※10:20までに集合ください。

定員12名 5,500円 (税込)

集合場所 石川県女性センター前

コース 慧星倶楽部→超雲寺・大野庄用水→IN KANAZAWA HOUSE→長土堀通り→高蔵寺→鞍月用水→ウメサ食品→専光寺→金澤かが美

みどころ 新幹線が延伸し、賑わいを見せる金沢駅からも程近い界隈にて飲食店やさまざまな利活用されている金澤町家を巡ります。

食事案内 金澤かが美 北出 健展(ジェル・アーキテクト) 橋本 浩司(橋本建築造園設計)

3 尾張町界隈ツアー

老舗風情の再発見

2/15 土 出発10:30 解散13:30頃(食事後) ※10:20までに集合ください。

定員12名 8,000円 (税込)

集合場所 むさしクロスピア(武蔵が辻地下通路の円形広場)

コース むさしクロスピア→市姫神社→旧新町の町並み→武家屋敷の野坂家→下新町の町並み→枯木橋詰遺構(旧惣構堀)→尾張町の町並み→金沢ワイナリー

みどころ 旧寿屋など旧新町や下新町の町並み、武家屋敷野坂家、惣構堀枯木橋詰遺構、尾張町表通りの旧三田商店や森忠商店などを巡ります。

食事案内 ア・ラ・フェルム・ドゥ・シンジロウ 増田 達男(金沢工業大学名誉教授) 豊島 祐樹(金沢大学講師)

4 東山・観音町界隈ツアー

伝統的まちなみ・活用・暮らし

2/16 日 出発10:30 解散13:30頃(食事後) ※10:20までに集合ください。

定員12名 8,000円 (税込)

集合場所 浅野川大橋交番前

コース 某改修町家→どんぐり倶楽部→某邸庭→AnnChai→某改修町家→藤とし

みどころ 国指定保存地区の住まいや商店を訪ね、暮らしと賑わいのある伝統的町家を体感します。

食事案内 ロペール・デュマ 林 正人(林建築設計工房) 奥村 久美子(奥村設計室)

5 長町・香林坊界隈ツアー

土堀・せせらぎ・武家屋敷

2/22 土 出発10:30 解散13:30頃(食事後) ※10:20までに集合ください。

定員12名 5,000円 (税込)

集合場所 金沢市老舗記念館前

コース 長町研修館(匠心庵)→金澤町家活用事例→足軽資料館→せい月

みどころ 都心に残る貴重な武家屋敷や町家を訪ねながら、金沢用水のせせらぎを感じ、町並みに垣間みえる歴史の継承・活用の工夫を発見し、城下町の風情を体感します。

食事案内 せい月 白石 英巨(金沢大学講師) 金澤町家研究会事務局

◆一般社団法人 金澤町家活用推進機構

昨年度に引き続き、下記4軒の金澤町家について、1軒は金澤町家活用推進機構による貸出（サブリース）、3軒は所有者による賃貸運営のサポートを行った。

- ・卯辰山麓重伝建地区内の町家
- ・兼六町の武士系建物
- ・笠市町の元商家
- ・尾張町の大型元商家

また、金澤町家の改修、活用についての相談に対応するようにして、建物調査、改修計画の提案なども行った。
(川上光彦)



兼六町の武士系建物

◆有限責任事業組合(LLP)金澤町家

1. 町家相談業務

本年度の相談件数は4件、町家の購入に際しての相談や部分修理等の依頼があり、建物全体の根本的修理に関する技術相談はなかった。

2. 作事組全国協議会勉強会

本年度は、作事組全国協議会が技術的な勉強会を次のとおり2回開催、LLP金澤町家からも参加した。

第1回 6月1日～2日 京都市、京町家作事組事務所、改修現場にて開催。LLPから武藤、中西、橋本が参加。

第2回 9月28日～29日 金沢市、金澤町家情報館及び市内を巡って開催。金沢市歴史都市推進課中村氏、LLPから武藤、中西が参加、各自が会場で発表した。

3. 第8回作事組全国協議会2024、総会

作事組全国協議会が、令和6年12月8日～9日に広島県福山市鞆の浦で開催され、LLP金澤町家から武藤が参加した。

第1日目 12月8日(日)

10:00～11:50 鞆の町並みのフィールドワーク

鞆町重伝建地区内を歩き、公開された伝統的建造物を見学。保存地区内の伝統的建造物は約300棟、そのうち江戸・明治期の建物が約200棟あり、古い建物の割合が多いのがこの地区の特徴である。

主会場：福山市「鞆交流館」

13:10～13:50 基調講演「文化財修理の原則」

藤田盟児(奈良女子大学工学部教授)

14:00～17:40 パネルディスカッションⅠ

「古民家再生における技術的継承を考える」

パネルディスカッションⅡ

「古民家の再生における金融スキームを考える」

第2日目 12月9日(月)

09:20～10:00 作事組全国協議会総会

10:00～11:30 歴史的建造物の改修等に係る学習会

「各地の歴史的建造物の保存継承活動の直面する課題等の克服に向けて」

事例報告事例報告Ⅰ「伝統構法及び歴史的建築物改修のコスト管理等について」(一社 京町家作事組 末川協氏)

そのⅡ「歴史的建築物改修の断熱性能向上について」

(一般社団法人 ワークショップ「き」組 松井郁夫氏)

そのⅢ「金澤町家のwallstat耐震シミュレーションについて」(有限責任事業組合 金澤町家 武藤清秀)

そのⅣ「歴史的建築物の保存修理と活用について」

(姫路・町家再生塾 山田克幸氏)

NPO法人 全国町並み保存連盟 中国・四国ブロックとの共催行事のため、約100名が集まり充実した催しとなった。

(武藤清秀)



吉本家(修復事例)

LLP金澤町家のサイト(URL)

<https://kanazawa-machiya.net/cooperation/llp/>

◆彦三町家でひなまつり

3月には、昨年に引き続き、金澤町家研究会の事務局である「彦三町家」でひな人形を飾った。以前に寄贈いただいた手作りの木目込み人形である。今年はひな人形に加えて、幹事のはからいにより金花糖や生け花が飾られ、華やかな設えが整った。

3月24日（月）～29日（土）13：00～15：00の期間は、ひな飾りを自由に見に来ていただくこととした。家の前に看板を置き、メールなどで案内した。

最終日の29日には、茶話会を開催した。メールで案内した方以外にも、近所の方が家の前の看板を見て立ち寄ってくださった。町家や雛祭りの話に花が咲き、2時間ほどの短い時間ではあったが、楽しい時間を過ごすことができた。特に今年は雛飾りの人形や道具の鑑賞に加えて、床の間に飾られた桃の花と10種類の椿の花に見とれ、ま



た、県外出身の方々はこの地域の特徴である桃の節句に飾られる金花糖にも興味を持っていただけた。

(馬場先恵子)



◆金澤町家学生会議

2024年5・6月に、川上先生や白石先生にご協力いただき、まち歩きイベントを開催した。学生会議や参加者共に、町家やまちづくりへの理解を深める貴重な機会となった。

また、6月には企業交流会、10月には学生ACTION CAMPでプレゼンテーションを行い、企業の方々とは活発な意見交換をすることができた。さらに、11月には町家巡遊のお手伝いをさせていただき、町家を活用している方々の声を聞くことで、新たな活用方法や課題に気づくことができた。

その他にも、学生会議メンバーで定期的にまち歩きをしたり、学生団体同士の交流イベントに参加したりと、精力的に活動を進められたと思う。

年々減少する金澤町家の魅力を学生目線で発信したいという思いのもと、多くの方々の支えもあって、このようなイベントに携われたことに心から感謝したい。

(山梨英里奈)



◆乙女の金沢春らら市2025

今年も4月5日(土)、6日(日)の二日間、サクラの季節に合わせて開催された「乙女の金沢 春らら市2025」に参加した。金澤町家研究会は昨年に引き続き、しいのき緑地のワークショップテントにて参加し、今年から武士系町家のバージョンが追加された「町家箱づくり」ワークショップと「金澤町家紙芝居」のイラストを用いた塗り絵ワークショップのほか、しいのき緑地のある広坂界隈の地図に、町家がある場所にシールを貼って書き込みをしていく“みんなでつくる金澤町家MAP”ワークショップを行った。「このスイーツが美味しい」など、たくさんの町家の情報を教えていただいた。そのほか、書籍等の販売や、各種パンフレット配布を通して金澤町家や金澤町家研究会の活動に関する情報発信を行った。

今年は、企画段階から研究会の皆さんに協力をいただき、上記のようにいくつかの提案が実を結んだ。時間切れで実現にこぎ着けなかったものもあるが、次に向けて検討していきたい。協力くださった皆さまに感謝申し上げます。
(坂本英之)



◆令和6年度定期総会

定期総会は6月22日(土)シンポジウム開催前に学生のまち金沢市民交流館の交流ホールにて開催し、総会後には「金澤町家巡遊2023」「彦三町家のひなまつり」「金澤町家流通コーディネート事業」の各活動報告を行った。

開催日時：令和6年6月22日(土) 13:00～13:20

開催場所：学生のまち金沢市民交流館交流ホール

正会員総数：30名／本人出席10名、委任状による出席10名、計20名(議決権総数の2分の1以上)

議案 第1号議案 令和5年度事業報告について
賛成20名、反対0名

第2号議案 令和5年度収支報告および監査報告

賛成20名、反対0名

第3号議案 令和6年度事業計画案

賛成20名、反対0名

第4号議案 令和6年度収支予算計画

賛成20名、反対0名

第5号議案 理事増員の件

賛成20名、反対0名

以上、すべての議案について、満場異議なく議案のとおり可決された。

◆広報・交流活動

広報として、令和6年度は第49号～第51号の「金澤町家だより」を発行した。

第49号は6月22日(土)に開催された金澤町家研究会シンポジウムの報告を中心に特別号として発刊し、第50号は金澤町家研究会設立20周年の節目の記念号として発刊した。

2006年創刊号からのバックナンバーは下記URL

<https://kanazawa-machiya.net/about/newsletter/>

交流活動として、3月8日を「町家の日」とする動きが京都発により各地で進められ、「町家の日Week」(3月8日(土)～3月16日(日))に金澤町家での催しを

町家ショップなどから募集し、町家の日サイト等で情報発信を行った。「町家の日」開催エリアは、京都、金沢のほか、姫路、大津、越後高田、新潟、村上、盛岡が参加した。



◆歴史まちづくり拝見：「燃えしろ設計」による新築木造長屋

東京都墨田区京島地区には、長屋を中心として歴史的建築物が残存し、昔ながらの暮らしが息づいている。近年、そうした建物や町並み、コミュニティに魅力を感じたクリエイター達などが多く移り住むようになり、歴史的な建物をリノベーションして創作活動の場としたり、新たなショップをオープンするなど、まちづくりが活発に行われ注目されるようになってきている（右写真）。

また、その中に昔ながらのレトロな雰囲気を残す商店街（右写真）があり、懐かしい魅力を感じている人々も多い。そうした商店街に近接して「燃えしろ設計」による新築の木造長屋が建築され、2023年6月にシェアカフェとコワーキングスペースとしてオープンした。

「燃えしろ設計」とは、外観に表（あらわ）しで木材が使用されていても、火災になった場合、木材の表層部が燃えて炭化することにより、それ以上燃えず、躯体が維持されるため、避難行動などが可能であるとするものである。木材を大規模建築物などにも使用することができる方法として、国の告示として認められたものである。当初は集成材に限定されていたが、2004年の告示改正により一般の製材された木材の使用も可能となった。

本地区は「新防火地域」としてかなり強い規制が掛けられており、2階建てであっても外観は準耐火構造とすることが求められ、「木造表し」は許されない。そうした地域に、周囲の町並みに合うように、「燃えしろ設計」により「木造表し」の長屋が建てられたものである。右写真に見るように、木製の格子戸や押縁下見板張りの壁面により、周囲の町並みに合うように建てられていることがわかる。

建設された敷地は、建売住宅が建てられようとしていたものを、町並みに合うものにするため、交渉の上、借地権を譲り受け、この建物が建築された。中心になったのは、一級建築士&プランナーの紙田和代氏である。同氏は墨田区のまちづくり関連計画を担当されたことから本地区に魅力を感じて移住された。また、同氏は、商店街にあったパン屋を継承するなどまちづくり活動も行っておられた¹⁾。

なお、建物自体も伝統構法でできるだけ設計、施工され、金物をできるだけ使用しないようにして、すべて国産材により、柱や梁も仕口や継ぎ手で加工されて組み立てられている。また、地盤調査と構造計算を行い、耐震等級3相当を取得している。建築工事費 32,580,000円、地盤改良等付帯工事費 3,480,000円であった²⁾。

本地区は、行政的には木造密集市街地として不燃化等の対策が進められているが、一方、魅力的な歴史的市街地が継承されているとして、民間を中心に各種の歴史まちづくり活動が行われて来ている。そうした流れの中で、「木造表し」で町並みに調和しかつ地区のまちづくりにも貢献する素晴らしい事例である。大いに参考にしたいが、本事例は個人的な熱意と努力により実現した稀有な



長屋をリノベーションしたショップや工房



キラキラ橋商店街



燃えしろ設計による新築木造長屋



燃えしろ設計による新築木造長屋

ものであり、一般解とするにはかなり困難であると思われる。その理由として、一つは事業費の大きさである。ごく一部をクラウドファンディングなどでカバーしているとは言え、個人的に担うには多額である。もう一つの理由として、東京という人口密度が高く、一定の需要が見込まれ、簡単ではないが、事業として成立する可能性もある地域でしか実現し難いと思われるからである。

参考文献

- 1) 小野洋平、墨田区・キラキラ橋商店街「ハト屋」紙田和代さん、suumoタウン、2022年1月13日
- 2) 紙田和代、東京墨田区京島「けん玉横丁新築長屋プロジェクト」、MOTION GALLERY

(川上光彦)

町家 金澤

「2024年度活動報告書」

【編集・発行】NPO法人 金澤町家研究会

理事長 川上光彦

2025年5月

〒920-0854

金沢市安江町4番20号



NPO法人 金澤町家研究会

〒920-0854 金沢市安江町4番20号

Tel: 076-254-0647 / Fax: 076-254-0657

E-mail: kanazawa-machiya@nifty.com

<http://kanazawa-machiya.net>

専用駐車場はありませんので、公共交通をご利用いただくか、車でお越しの場合、近隣のコインパーキングをご利用ください。

